

# 平成28年度 高冷地水稻生育速報(第6報)

岐阜県中山間農業研究所

## 1. 生育概況(8月15日現在)

品種名	年度	出穂期	(平年との差)	現在の状況
コシヒカリ	本年	8月3日	(4日早い)	乳熟期
	前年	8月5日		
	平年	8月7日		
ひとめぼれ	本年	7月31日	(2日早い)	乳熟期～糊熟期
	前年	8月1日		
	平年	8月2日		
たかやまもち	本年	7月26日	(1日早い)	乳熟期～糊熟期
	前年	7月26日		
	平年	7月27日		
ひだほまれ	本年	7月30日	(2日早い)	乳熟期～糊熟期
	前年	7月30日		
	平年	8月1日		

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/㎡ 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/㎡、平成26年度は18.2株/㎡、平成27年度は21.2株/㎡

平年値: 過去5年間(H23年～H27年)の平均値

( )内の数値は対平年値

### 1) 気象概況

7月18日の梅雨明け以降、気温は平年よりも高く、日照時間も平年よりも多く推移している。なお、降水量は少ない状態が続いている。

### 2) 生育状況

「コシヒカリ」で出穂が確認された。出穂期は「コシヒカリ」で平年より4日早い8月3日であった。

### 3) 病虫害等の発生状況

穂いもちの発生は確認されていないが、紋枯病については一部の品種において発生が見られる。斑点米カメムシ類は場内においては発生があまり見られない。

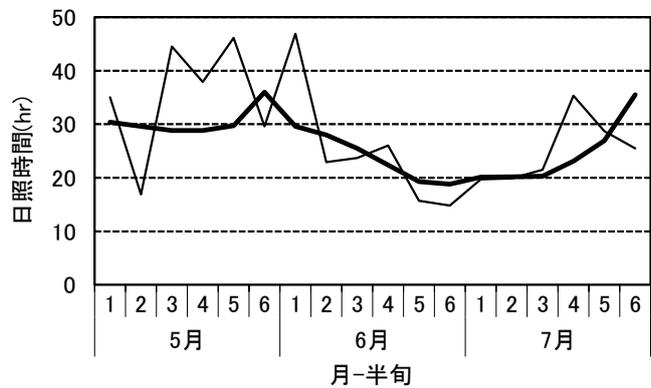
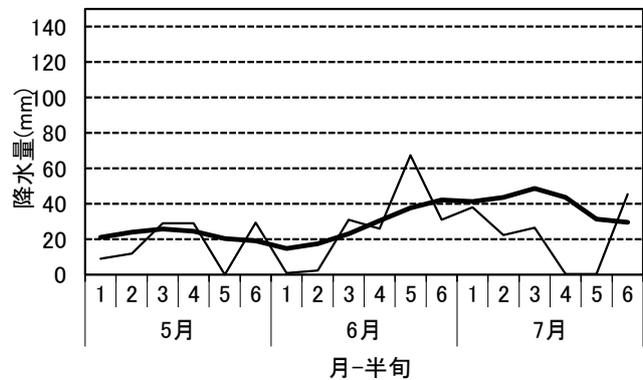
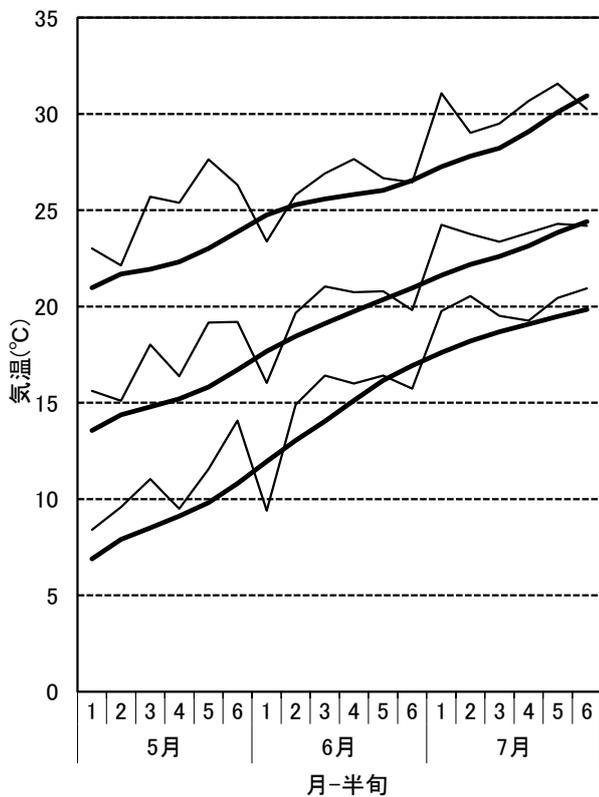
### 4) 今後の管理

斑点米カメムシ類の適期防除に努める。なお、使用する剤型により適期が異なるので留意し、適期を逃さないようにする。早期の落水は品質や食味の低下を招くので、出穂後30日間は落水しないようにする。

<参考> 前回調査時(8月1日)の生育概況

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色		葉齢
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	88.0 (96%)	576 (131%)	4.7 (+0.6)	30.3 (-4.2)	13.0 (-0.2)
	前年	91.1	446	3.7	35.2	13.0
	平年	91.2	441	4.1	34.5	13.2
ひとめぼれ	本年	86.8	635	4.8	33.0	12.9
	前年	88.9	455	4.4	40.3	13.0
	平年	-	-	-	-	-
たかやまもち	本年	96.4	500	5.2	38.6	12.6
	前年	90.6	396	4.7	41.1	13.0
	平年	-	-	-	-	-
ひだほまれ	本年	95.2	405	5.3	37.6	13.6
	前年	95.0	322	4.5	41.2	13.5
	平年	-	-	-	-	-

<参考> 半月別気象図(高山市アメダス, 8月15日現在)



— 平年(1981~2010年) — 本年(2016年)

岐阜県中山間農業研究所  
 TEL 0577-73-2029  
 FAX 0577-73-2751  
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>